



# 三浦市議会だより

第 128 号  
平成29年(2017年)5月1日  
編集：議会だより編集委員会  
発行：三浦市議会  
〒238-0298  
神奈川県三浦市城山町1番1号  
☎ 046(882)1111内線462・463

## 第1回定例会

# 平成二十九年年度予算成立

## 消防の広域化に伴う関係条例を可決



新たな消防・防災の拠点「三浦消防署」

### 定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
2月27日	月	本会議	会期の決定、施政方針
28日	火	本会議	一般質問
3月1日	水	本会議	一般質問
2日	木	本会議	一般質問、議案の審議(説明・質疑・委員会付託)、予算審査特別委員会の設置
3日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
6日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
8日	水	予算審査特別委員会	議案の審査
9日	木		
13日	月		
14日	火		
15日	水		
22日	水	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告・討論・採決)、委員会提出議案(説明・採決)、人事案件(農業委員会委員・人権擁護委員)、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十九年第一回定例会は、二月二十七日から二十四日間を会期として開かれました。  
今定例会では、平成二十九年各会計予算や消防の広域化に伴う関係条例、農業委員会委員の任命など四十三議案を審議しました。その他に、委員会提出議案として委員会条例を改正しました。

#### 〈議会だより第128号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
予算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2面
一般質問	3～6面
陳情の審査	7面
委員会条例を改正	7面
議会の活動から	7面
議会を学ぼう	7面
本会議における討論	7面
人事	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面

## 予算審査特別委員会 議案の審査概要

平成二十九年年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の予算議案は、八人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

### 予算審査特別委員会

委員長 神田真弓  
副委員長 小林直樹  
委員 石橋むつみ  
寺田一樹  
長島満理子  
出口正雄  
藤田昇  
出口真琴

### 総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

#### 厳しい予算編成

**質問** 一般会計の予算額が前年度より六・九%の減となったが、市長の所見は。

**答弁** 精緻に歳入・歳出を見直したものの、税収が減少する見込みであり、危機感を持って取り組むたい。

#### 重点施策は

**質問** 二十九年年度予算編成において市長が最優先とした事業は何か。

**答弁** すべての事業が重要だが、小児医療費助成に係る予算は必ず

確保するように指示をした。あわせて、就学援助の改善について検討を求めている。

#### ふるさと納税

**質問** 市長は「過度の競争はしない」と述べているが、他の自治体との違いを示し、市民に還元させるための考え方を聞きたい。

**答弁** 地域経済の活性化に寄与することを目的に返礼品を選定しており、三浦市のよさをPRする意味でふるさと納税の活性化を図りたい。

#### 新たな奨学金制度

**質問** 就学を支援するための給付型奨学金の創設について、市長の思いをお聞きたい。

**答弁** 市民からの大変な好意を生かすためにつくったもので、件数は限られるが、多くの皆さんの希望をかなえ、効果のある施策として取り組むたい。  
(その他の質疑項目)  
・子育て支援策の推進について



# 一般会計

## 歳入

- ・市税収入が減少した理由について
- ・収納率向上の取り組みについて
- ・広報紙への広告掲載料収入の減少について

## 歳出

- 総務費
  - ・みうらっ子応援プロジェクトについて
  - ・新たに導入されるラッピングバスについて
  - ・二十九年度の市の採用職員数と募集人数について
- 民生費
  - ・ファミリーサポートセンターや病後児保育の設置に向けた取り組みについて
  - ・保育士の勤務環境改善について
  - ・障害者支援の取り組みについて
  - 衛生費
    - ・中学生に対するピロリ菌対策事業について
    - ・ごみ処理の課題と関連施設の現状について
    - ・がん検診に係る予算の増加について
  - 農林水産業費
    - ・有害鳥獣の対策について
    - ・市営漁港整備について
  - 商工費
    - ・ウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会の開催について
    - ・創業・事業承継の支援

## 歳入

- 土木費
  - ・橋りょうの維持修繕について
  - ・都市計画マスタープランの見直しについて
- 消防費
  - ・横須賀市へ委託する消防事務に係る予算の内訳について
  - ・防災行政無線のデジタル化によるメリットについて
- 教育費
  - ・就学援助制度における新入学学用品費の支給時期について
  - ・学校施設の改修内容について
- 公債費
  - ・実質公債費比率の見込みについて

## 歳出

- 市場事業
  - ・前処理工場の移転について
  - ・製氷施設及び冷蔵施設使用料算定の考え方について
  - ・高度衛生管理化に伴う、市場の見学者への対応について
- 公共下水道事業
  - ・汚水処理整備計画に係る取り組みについて
  - ・下水道課の職員体制について

# 特別会計

## 国民健康保険事業

- ・特定健診の受診率の目標値について
- ・保険給付費が減少した要因について

## 後期高齢者医療事業

- ・保険料軽減特例の見直しについて
- ・収入のない被保険者からの保険料徴収について

# 企業会計

## 病院事業

- ・外来収益の増加を見込んだ理由について
- ・訪問診療を受けた場合の医療費の支払方法について

## 水道事業

- ・老朽管更新事業費が減少した理由について
- ・水源施設増強費の残高について

## 歳入

- 一般会計
  - 小林直樹副委員長より、市民サービスの低下を防ぎ、職員の健康管理をするために、適正な職員採用が求められること等が反対の理由として述べられました。

# 常任委員会

## 議案の審査概要

# 総務経済

## 三浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例

- 三浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例
  - ・本会は、二十九年七月からの情報提供ネットワークシステムによる情報連携に合わせた規定の整備及び県で予定される在宅重度障害者等手当支給事務での特定個人情報利用に向けた規定の整備を行うものです。
  - (質疑の主な項目)
    - ・情報連携により図られる負担軽減について
    - 意見 個人情報流出への懸念からマイナンバー制度自体に反対であり、本案に賛成できない。

## 三浦市消防の広域化に伴う関係条例の整備に関する条例

- 三浦市消防の広域化に伴う関係条例の整備に関する条例
  - ・本案は、本年四月からの消防広域化に伴う関係条例の規定の整理、廃止等を行うものです。
  - (質疑の主な項目)
    - ・災害時の市内団体との協力連携について
  - 平成二十八年度三浦市一般会計補正予算(第五号)
    - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九百六十九万六千円を減額するほか、継続費、繰越明許費及び地方債の補正を行うものです。
    - (質疑の主な項目)

## 三浦市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例

- 三浦市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例
  - ・本案は、市職員の休暇

## 歳入

- 後期高齢者医療事業
  - 石橋むつみ委員より、本年齢で医療を差別し、特例軽減の措置なしに成り立たない本制度そのものに反対していることが反対の理由として述べられました。
- 公共下水道事業
  - 石橋むつみ委員より、本予算ではPPP・PFI推進事業も考えられており、運営権を民間事業者に渡そうとするのは、この事業にふさわしいこと等が反対の理由として述べられました。

## 歳出

## 三浦市消防の広域化に伴う関係条例の整備に関する条例

- 三浦市消防の広域化に伴う関係条例の整備に関する条例
  - ・生活保護に係る事業費が増額された要因について
  - 意見 第三セクター等改革推進債償還事業特別会計への繰り出しが計上されているため、本案に賛成できない。
  - 平成二十八年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第三号)
    - ・本補正は、歳入歳出それぞれ八百八十九万二千円を減額するほか、地方債の補正を行うものです。
    - (質疑の主な項目)
      - ・生活保護に係る事業費が増額された要因について
      - 意見 第三セクター等改革推進債償還事業特別会計への繰り出しが計上されているため、本案に賛成できない。

## 三浦市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例

- 三浦市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例
  - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九百六十九万六千円を減額するほか、継続費、繰越明許費及び地方債の補正を行うものです。
  - (質疑の主な項目)

## 三浦市地域福祉センター条例の一部を改正する条例

- 三浦市地域福祉センター条例の一部を改正する条例
  - ・本案は、介護保険法の改正により、規定の整理を行うものです。
  - (質疑の主な項目)

## 歳入

- 後期高齢者医療事業
  - 石橋むつみ委員より、本予算ではPPP・PFI推進事業も考えられており、運営権を民間事業者に渡そうとするのは、この事業にふさわしいこと等が反対の理由として述べられました。

# 都市厚生

## 三浦市上水道事業審議会条例

## 三浦市上水道事業審議会条例

- 三浦市上水道事業審議会条例
  - ・本案は、本市の水道事業の経営状況について審議を行う組織を設置するものです。
  - (質疑の主な項目)
    - ・審議会委員の人数や想定される構成について
    - ・水道料金の値上げを審議の対象とすることに
  - 平成二十八年度三浦市一般会計補正予算(第二号)
    - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億五千四百六十九万六千円を減額するほか、地方債の補正を行うものです。
    - (質疑の主な項目)

## 三浦市上水道事業審議会条例

- 三浦市上水道事業審議会条例
  - ・第一号通所事業に係る規定と介護予防通所介護に係る規定の施行期日の差について
  - 平成二十八年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)
    - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九千三百八十八万六千円を減額するほか、地方債に関する設定をするものです。
    - (質疑の主な項目)
      - ・後期高齢者支援金を減額した理由について
    - 平成二十八年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第二号)
      - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億五千四百六十九万六千円を減額するほか、地方債の補正を行うものです。
      - (質疑の主な項目)

## 三浦市上水道事業審議会条例

- 三浦市上水道事業審議会条例
  - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九千三百八十八万六千円を減額するほか、地方債に関する設定をするものです。
  - (質疑の主な項目)

## 歳入

- 第三セクター等改革推進債償還事業
  - 小林直樹副委員長より、この会計は土地開発公社解散の尻拭いをするものであることが反対の理由として述べられました。

## 歳出

## 三浦市上水道事業審議会条例

## 三浦市上水道事業審議会条例

- 三浦市上水道事業審議会条例
  - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九千三百八十八万六千円を減額するほか、地方債に関する設定をするものです。
  - (質疑の主な項目)
    - 市道路線の認定、廃止及び変更について
  - 平成二十八年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第三号)
    - ・本補正は、歳入歳出それぞれ九百六十四万九千円を減額するものです。
    - (質疑の主な項目)

## 三浦市上水道事業審議会条例

- 三浦市上水道事業審議会条例
  - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九千三百八十八万六千円を減額するほか、地方債に関する設定をするものです。
  - (質疑の主な項目)

## 三浦市上水道事業審議会条例

- 三浦市上水道事業審議会条例
  - ・本補正は、歳入歳出それぞれ一億九千三百八十八万六千円を減額するほか、地方債に関する設定をするものです。
  - (質疑の主な項目)



# 一般質問

## 質問と答弁の要旨

○市財政に与えた効果は	(公明党 藤田 昇).....	3面
○防災訓練のあり方	(自由民主党 出口正雄).....	3面
○三浦市の空き家対策	(無所属 下田 剛).....	4面
○三浦海岸桜まつり	(みうら市政会 長島満理子).....	4面
○市民に親しまれる消防庁舎に	(日本共産党 石橋むつみ).....	4面
○三浦市の魅力を発信	(無所属 寺田一樹).....	5面
○民泊事業の実施は	(みうら市政会 出口眞琴).....	5面
○三浦市での出産を可能に	(日本共産党 布川照美).....	5面
○安心して子育てができる町に	(みうら市政会 神田眞弓).....	6面
○二町谷埋立地の利活用	(日本共産党 小林直樹).....	6面
○三浦市のよさをアピール	(みうら市政会 草間道治).....	6面



### 市財政に与えた効果は

観光の核づくり、ふるさと納税

公明党 藤田 昇

**質問** 土地開発公社解散に伴って活用した第三セクター等改革推進債は、償還額が大きく、市財政への影響が注目されがちだが、そもそも活用の目的は、市財政の負担軽減である。

具体的に、市財政に与えた効果額はどれくらいであると試算しているのか。

**政策部長** 第三セクター等改革推進債は平成二十二年から償還を開始し、二十八年度末まで土

地開発公社を解散しなかった場合、負債額は約百四十二億円になると試算されるので、この額から八十五億円を差し引いた五十七億円が三浦市の財政に与えた効果額だと考えている。

#### 新たな観光スポット

今後は、城ヶ島ハイキングコースの西側の目的地として、「恋する灯台」に認定された城ヶ島灯台周辺の整備などを実施していく予定である。



城ヶ島灯台

### 防災訓練のあり方

移住促進策、城山地区の活用

自由民主党 出口 正雄

**質問** これまでの防災訓練は、行政や関係機関が行う災害対策や復旧訓練を市民に見ても

らうものを中心とした。しかし、広域災害の発生が危惧される中で

あり、市民が参加する

訓練に重点を移して、自助、共助を実践することが大事だと考える。

また、訓練は市民の対応力強化を内容としたものにすべきではないか。

**市長** 市民の対応力の向上は、市としても当然目指すところである。市民が参加する訓練は、これまで資機材の取り扱いを中心に行ってきたが、今後は市民の連携による災害対応についても企画していきたい。

移住者への優遇制度として、トライアルステイ（お試し居住）事業が

平成二十七年から実施されている。

三浦市に移住を検討される方に対して、家賃の補助、市民税や固定資産税の減税など、これなら移住してもいいと思える優遇策が必要である。市の考えはどうか。

**政策部長** 金銭的な優遇策は、自治体間の競争となる可能性が高く、本市には適さないと考えている。

トライアルステイ事業は、三浦市の魅力を感じていただき、転入に結びつけることを目的に実施しているので、この中で移住してもいいと思えるような工夫

を检讨したい。

計画策定は、城山地区の活用は、市役所の移転も想定した市の将来像を見きわめるための重要なポイントである。慎重に検討しなければならぬ反面、良好な生活環境や雇用の確保の観点から、早急に利用計画をつくらなければならぬ。

城山地区の利用計画を



城山地区の利用計画を



# 三浦市の空き家対策

こども食堂、消防広域化  
無所属 下田 剛

**質問** 空き家の利用方法として、リノベーションを考えている方に D I Y、いわゆる日曜大工の活用を提案することは有効であると考える。

リノベーションに D I Yを活用することで、他の自治体とは違う、三浦ならではの取り組みができるのではない

**政策部長** リノベーションと D I Yは相性が

よいと考えているので、空き家を利用する一つの手法として D I Yを推奨することは有効であると認識している。

リノベーションスクールは平成二十九年でも引き続き実施する考えであり、セルフ D I Yに関するスクールの実施も検討している。

**保健福祉部長** こども食堂は、家庭環境や学校生活の中で生じる問題を抱えている子供たちが自由に立ち寄れる、子供たちの居場所という側面も有すると考えている。

各地で行われている取り組みに関する情報

**質問** 最近では、学校に行かない・行けない

化を図ってまいりたい」とあるが、その意図と取り組みの方向性についてお聞きしたい。

**市長** 今後も地域の事業者や京急と連携して新規イベントや P Rを実施し、もう一段上積みした集客がされることを期待している。

また、観光消費をしてもらう仕組みも必要だと考えており、来場客が市内を回遊するよ

うな施策も実施、支援したい。

**質問** 三浦市農業後継者対策実行委員会が主催するアグリ d e デー

トが成果を上げている。

児童・生徒に関することがピックアップされることがある。

こども食堂の取り組みにより、このことが解消された例も耳にするが、市は、こども食堂など地域における学習支援に関し、どのような考えを持つか。場所の確保等、実現への協力を強く要望したい。

**保健福祉部長** こども食堂は、家庭環境や学校生活の中で生じる問題を抱えている子供たちが自由に立ち寄れる、子供たちの居場所という側面も有すると考えている。

各地で行われている取り組みに関する情報

**質問** 最近では、学校に行かない・行けない

化を図ってまいりたい」とあるが、その意図と取り組みの方向性についてお聞きしたい。

**市長** 今後も地域の事業者や京急と連携して新規イベントや P Rを実施し、もう一段上積みした集客がされることを期待している。

また、観光消費をしてもらう仕組みも必要だと考えており、来場客が市内を回遊するよ

うな施策も実施、支援したい。

**質問** 三浦市農業後継者対策実行委員会が主催するアグリ d e デー

トが成果を上げている。

を収集し、課題を含めて研究したい。

**質問** 横須賀市との消防の広域化が、いよいよ四月から始まる。

消防長を初め、現三浦市消防本部の職員は、横須賀市消防局の職員に身分が変わるが、現三浦市の消防職員としての思いをお聞きしたい。

**消防長** 社会情勢の変化による課題等に柔軟かつ効率的に対応できる組織を構築するため、消防の広域化は必要不可欠であると

三浦消防で培った消

防魂は、広域化後の組織においても必ず反映することを約束する。

また、広域化後は、

今まで以上に三浦市民の安全・安心を守るべく、全力で消防行政に取り組みたい。

**質問** 今後の受け入れは

**質問** 市内にある塩崎産婦人科は九月上旬をもって分娩の取り扱いを終了すると公表しており、市内に分娩を取り扱う医療機関がなくなる。

今後のお産がどのようになるか心配だが、

塩崎産婦人科にかわる医療機関での分娩受け入れについてお聞きしたい。

**市長** 塩崎産婦人科では、お産の取り扱い終了後も、妊娠三十二週までは妊婦健診を行い、その後、横須賀市内の病院につなげる仕組み

を構築する予定だと聞いている。

**保健福祉部長** 横須賀市の医療機関における分娩受け入れの可能数を確認したところ、塩崎産婦人科での取り扱い件数は受け入れが可能だと予測している。

**質問** 現在、市役所の来庁者用駐車場の有料化するための事業者募集がされているが、駐車場設置の状況と来庁者への配慮についてお聞きしたい。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ

**質問** 平成二十八年度の平和事業として、一月に旭小学校の児童を対象に戦争遺構見学会を実施したと聞く。

児童からは、どのような感想が寄せられたのか。

**政策部長** 六年生の児童と教諭など二十二名が参加して、県立城ヶ島公園内の地下施設や観測所跡、松輪地区の劔ヶ崎砲台跡等を見学した。

後日、参加した児童たちからは「遺構が東京湾側から見ると枝木の山のように、うまく隠れていることに驚いた」「たくさんの人が戦争を知り、戦争のない平和な暮らしが続いてほしい」といった感想が寄せられている。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ

和を語り継ぐ

**質問** 平成二十八年度の平和事業として、一月に旭小学校の児童を対象に戦争遺構見学会を実施したと聞く。

児童からは、どのような感想が寄せられたのか。

**政策部長** 六年生の児童と教諭など二十二名が参加して、県立城ヶ島公園内の地下施設や観測所跡、松輪地区の劔ヶ崎砲台跡等を見学した。

後日、参加した児童たちからは「遺構が東京湾側から見ると枝木の山のように、うまく隠れていることに驚いた」「たくさんの人が戦争を知り、戦争のない平和な暮らしが続いてほしい」といった感想が寄せられている。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ

**質問** 現在、市役所の来庁者用駐車場の有料化するための事業者募集がされているが、駐車場設置の状況と来庁者への配慮についてお聞きしたい。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ

和を語り継ぐ

和を語り継ぐ

# 市民に親しまれる消防庁舎に

市役所駐車場、平和行政  
日本共産党 石橋 むつみ

**質問** 新消防庁舎については、安心・安全、環境にやさしい、防災の拠点として、今後の取り組みを丁寧にしてほしい。

市民に親しまれる庁舎となるように、平時には情報交換や防災意識啓発のための見学ができるようなスペースも確保できるのか。

**消防長** 消防をより理解し、消防意識の向上を図られるように、一階エントランス部分での展示を考えている。

文化財収蔵庫におさめていた腕用ポンプや、通称ミニボーくんを展示したり、火災が発生しやすい時期には展示品を追加して防火の備えを図ってもらえるよう、展示を実施していきたい。

和を記念したアオギリの木があるので、整備の際は維持保全に努めるよう要望する。

**総務部長** 現在、来庁者用駐車場としている市役所本館横の駐車場及び旧福祉会館前の駐車場に城山体育館跡地を加えて、有料時間貸し駐車場として使用することを予定している。

来庁者の方々に対しては、利用時間に応じた無料措置を行うことを予定しているが、具体には事業者の決定後に協議をしたい。

後日、参加した児童たちからは「遺構が東京湾側から見ると枝木の山のように、うまく隠れていることに驚いた」「たくさんの人が戦争を知り、戦争のない平和な暮らしが続いてほしい」といった感想が寄せられている。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ

**質問** 現在、市役所の来庁者用駐車場の有料化するための事業者募集がされているが、駐車場設置の状況と来庁者への配慮についてお聞きしたい。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ

和を語り継ぐ

和を語り継ぐ

# 三浦海岸桜まつり

結婚支援、分娩を取り扱う医療機関

みうら市政会 長島 満理子

**質問** 三浦海岸桜まつりは年々認知度が高まっており、平日でも多くの来遊客が桜見物に訪れ、にぎわいを見せ

ている。

施政方針には「二十九年度もさらなる活性化を図ってまいりたい」とあるが、その意図と取り組みの方向性についてお聞きしたい。

**市長** 今後も地域の事業者や京急と連携して新規イベントや P Rを実施し、もう一段上積みした集客がされることを期待している。

また、観光消費をしてもらう仕組みも必要だと考えており、来場客が市内を回遊するよ

うな施策も実施、支援したい。

**質問** 三浦市農業後継者対策実行委員会が主催するアグリ d e デー

トが成果を上げている。

また、付近には城山城址や平和記念碑、平

和を語り継ぐ



桜見物に訪れる来遊客



横須賀市消防局へ(三崎出張所)



三浦消防署エントランスの展示



# 三浦市の魅力を発信

市民によるまちづくり、ごみ処理業務

無所属 寺田 一樹

**質問** 三浦市をさらに魅力あふれる町にしていくために、まずは三浦市に住む人々や市内で働く人々に町の魅力を理解してもらえよう取り組みなければならぬ。

三浦市が他市に誇れるような魅力を、どのような形で市民に発信しているのか。

## 市民部長

情報発信の媒体としては、毎月発行する広報紙「三浦市民」や市のホームページのほか、神奈川新聞に掲載している企画記事がある。

また、SNSを利用して、市長室及び都市計画課によるフェイスブックページや、観光商工課によるLINE(ライン)を活用した情報発信を随時行っている。

**市民主体の仕組み** 埼玉県川越市では、若手商店主が中心になってまちづくりを取り組み、蔵づくりの町並みを生かした観光型商店街が人気を博している。

三浦市の魅力を向上

主体となって必要なルールづくりを行い、それを市が支援するまちづくりの進め方が必要だと考えている。

## 委託化の検討

**質問** 本市の清掃事業は、退職者不補充の方針から正規職員の数が減少する一方であり、ごみ処理業務の一部委託化が現実味を帯びてきたと感じている。

以前から委託化について検討されているが、委託化する業務や時期についてはどのように考えているのか。

## 市長

ごみ処理広域化に伴って、今後、業務内容の見直しや施設整備を行うため、それらを踏まえて必要な人員等を明らかにし、委託化の検討をしたい。



趣ある建物が残る三崎下町

# 民泊事業の実施は

三崎高校跡地、三浦市の展望

みうら市政会 出口 眞琴

されているので、旅館業法の特例を活用した民泊事業に取り組むことが可能だと思いが、市の考えはどうか。

## 質問

二〇二〇東京オリンピック・パラリンピックの大会期間中は、三浦市にも多くの外国人観光客が訪れることが想定される。

三浦市は東京圏として国家戦略特区に指定されているので、旅館業法の特例を活用した民泊事業に取り組むことが可能だと思いが、市の考えはどうか。

## 市長

現在開会中の通常国会に民泊に関する新しいルールを定める住宅宿泊事業法案が提出される予定であり、三浦市としては、国の動向を注視しながら検討を進める考えである。

# 三浦市での出産を可能に

給食費補助、介助員の配置

日本共産党 布川 照美

**質問** 三浦市内には産婦人科のある病院が二カ所あるが、そのうち市立病院は現在休診しており、もう一カ所の産婦人科も平成二十九年九月上旬で分娩の取り扱いを終了する。

市立病院で休診している産婦人科を今後再開する考えはあるのか。

## 病院事務局長

市立病院が産める病院になることは、もちろん目指すべき方向だが、すぐに

実現することは難しい状況にある。当面は、三浦半島の中の産める病院のサポート病院として機能の充実に努める考えであり、今後、お産を行っている横須賀市の病院と連携を図って、当院外来でできることを検討したい。

## 保護者負担の軽減

新聞報道では、公立小中学校の給食費

## 質問

三崎高校跡地の利活用については、(仮称)市民交流拠点整備事業として、東側のA地区、約一万三千平方メートルを事業者に貸し付けて施設を整備し、一部を市が借りて市民交流センターを開設する計画である。

三崎口駅方面からの車両の出入り口は、旧法務局入口交差点付近が想定されているが、バス停の位置はどうなるのか。

## 政策部長

三崎口駅方面から三崎港方面に向かう下りのバス停は、交通に負荷をかけるという要因があるため移動を検討している。

具体的には、今の位置から三崎口駅方面に後退するような形を検討している。

## 質問

厳しい財政状況の中で取り組んできた事業が、目に見える形になり動き出している。

## 市長

現実的な展望として、三崎高校跡地の利活用や新消防庁舎、広域化によるごみの最終処分場、高度衛生管理の新魚市場など、さまざまなものが完成し稼働していくと思うが、これからの三浦市にどのような展望を持つか。



市場横に建設工事中の低温卸売場



三浦市内での出産を



# 安心して子育てができる町に

下町活性化、院内保育所

みうら市政会 神田 真弓

**質問** 第四次三浦市総合計画の新しい基本計画である三浦みらい創生プランでは、基本目標の一つに「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が掲げられている。

新たな施策として、子育て世代包括支援センターの設置を考えているが、支援センターの目的やサービスについて伺いたい。

**保健福祉部長** 教育や保

育、保健など、子育てに必要なサービスの円滑な利用を支援することが目標であり、ワンストップの総合相談窓口の役割を担う。

利用する方のニーズに合わせて関係サービスの調整を行うなど、最善の選択ができるように、保健師、助産師等の相談員が常駐してサポートする仕組みである。

「地区計画の変更等について必要な調整、協議をする」とあるが、地区計画の変更はいつごろを予定しているのか。

**政策部長** 変更の時期は、基本的には用地利活用プロジェクトの基本協定締結後になると認識している。

契約候補者との調整や、協議すべき事項の進捗などを見きわめながら、できる限り早期の実現を目指して取り組むたい。

**進捗状況は**

**質問** 介護保険事業計画では、在宅医療・介護連携支援センターを

**空き店舗の活用** 三崎下町商店街から、長年、下町経済を支えてきた老舗が次々と姿を消し、空き店舗は増加の一途をたどっている。

空き店舗を休憩場所として開放したり、新たな店舗の開設を応援するような取り組みが必要だと感じているが、市の考えはどうか。

**市長** 空き店舗を活用した立ち寄り場所の確保は、観光客の滞在時間の延長を図る一つの手法だと思ふ。

店舗の閉鎖後も引き続き居住しているケース等があるので慎重に進める必要があると思

設置して総合窓口を一本化することが予定されている。

昨年の六月議会では、二十八年度に医師会と市立病院、市の三者で設置場所を含めた実施方法についての協議を

**市役所の移転** 三崎高校跡地の

うが、商工会議所や下町商店街の皆さんの意見を伺いながら具体的な検討をしたい。

**開設の取り組みを** 県内の公立病院で職員向けの院内保育所が設置されていないのは三浦市立病院だけである。

看護師など医療スタッフを確保するという点で、院内保育所を設置することが必要ではないか。

**病院事務局長** 市立病院が今後も市民、患者のニーズに添えていくためには、安定して経常黒字を計上すること、職場環境を整備して人

土地利用を検討する中で、B地区については、市役所や図書館などをPPP手法などで整備管理をしていく可能性が調査されている。

市役所の移転は、城山地区の土地利用にも関連してくる。市長は、城山地区をテーマにア

材を確保することを両立していかなければならない。

どのようなサポートができるか、院内保育所設置などの方策について検討を進めたい。



休日の三崎下町



城山地区の利用方針は

多くの魅力がある三浦市

## 三浦市のよさをアピール

市立病院改革、課題解決

みうら市政会 草間 道治

**質問** 市長は、市政執行の基本姿勢として、市民にとって「あったかいまち」、「ロハス」な魅力で選ばれるまち、「三つのS」で高効率・高性能の財政体質、「市民の命を守る災害への備え」を挙げている。

平成二十九年度施政方針では、新たに「三浦市は、人よし、食よし、気分よし」を加えたが、この理由は、

平成二十九年度施政方針では、新たに「三浦市は、人よし、食よし、気分よし」を加えたが、この理由は、

**市長** 多くの方に三浦市のよさをアピールすることは私の最も重要な役割の一つであり、基本姿勢に加えている。

親しみのある覚えやすいフレーズだと感じているが、そうした三浦市であり続けてほしいという願いも込めてアピールしたい。

**市立病院改革** 経営状況が厳しい市立病院事業につい

て、市長は就任以来、積極的に経営改革に取り組んできた。

民間から病院事務長を採用するなど新しい発想で決断したことは評価するが、これまでの成果をお聞きしたい。

**市長** 市立病院は、公立病院としての存続が危ぶまれる経営状況に陥ったため、平成二十一年に市立病院改革プランを作成し、抜本的な経営改革に取り組んだ。その結果、二十三年度から二十七年まで黒字化を継続している。

また、地域の中核病院と連携した外来の開設や、訪問診療・訪問看護及び訪問リハビリテーションの開始など、医療の充実にも努めている。

また、日本版CCRC、新たな観光の核づくり事業などの新しい風が吹いていると感じている。今後の環境の変化を捉え、思いを新たに組みみたい。



多くの魅力がある三浦市



新たに提出された陳情

「地球を守る社会体制創り」の  
為の陳情書

趣旨 本陳情は、「地球社会建  
設決議」の議決を求めてい  
ます。

吉田英男市長就任以来の公用車の  
目的外使用(風俗店や関係女性宅、  
企業の接待旅行やゴルフの送迎)  
全容解明についての陳情書

趣旨 本陳情は、表題の事項に  
ついて、議会として調査  
し論議することを求めてい  
ます。

平成二十九年度からの特別徴収税  
額の決定・変更通知書に受給者の  
個人番号を記載する件についての  
陳情

趣旨 本陳情は、表題にある事  
項について、三浦市として  
個人番号の記載を行わない  
こと、個人番号の記載欄を  
追加した省令の撤回を求め  
る意見書を国に提出するこ  
とを求めています。

老人福祉法に基づき社会福祉法人  
啓生会(所在地:三浦市三崎町諸  
磯一四一―一、理事長:井上洋  
明氏)に対する特別監査を求める  
陳情

趣旨 本陳情は、表題にある事  
業者の行為について解明す  
るべく、行政の対応を求め  
ています。



常任委員会での陳情の審査結果

3月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて30件を審査しました。

今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。

そのほかの29件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	「地球を守る社会体制創り」の為の陳情書	審議未了

委員会条例を改正

本年四月から横須賀市と三浦市の両市域を一元的に管轄する広域消防の運用が開始され、三浦市の組織から消防本部がなくなり、三浦市議会委員会条例を改正し、常任委員会の所管事項から「消防本部」の名称を削除しました。



議会の活動から

新消防庁舎を視察しました(三月二十二日)

定例会閉会后、旧三崎高校跡地に建設された、三浦市の消防・防犯の拠点となる新しい消防庁舎を全議員で視察しました。現地では、担当職員役割などを確認することから新庁舎の特徴的



な設備として、消防・防災情報などをリアルタイムで発信する、庁舎最上部に設置されたLED表示システム「デジタルサインージ」や、市民利用も想定された多目的ルーム、展望デッキなどについて説明を受けました。実際に庁舎を視察することで、その機能や

議会を学ぼう

三崎小学校の六年生が、社会科の学習で、二回にわたって三浦市議会を見学しました。

◇ま◇ま◇

また、三月一日には、三十八人の児童が入れ替わりながら本会議の傍聴を行い、議員が行う一般質問を真剣に聞いていました。

定例会開会前の二月十六日には、議場において、議会事務局職員から議会の仕組みや役割、議場内の設備についての説明を聞きました。説明に対して、児童からは傍聴の手続方法など、多くの質問が出されました。その後は、議場内を自由に見学しました。



本会議における討論

議案第12号 平成29年度三浦市一般会計予算

反対討論 日本共産党 小林直樹

二十九年度の市の職員数は、定数より二百十一名少ない。市民サービスの低下を防ぎ、職員の健康を守るために、適切な職員採用を求める。地域経済活性化のためには、観光資源の整理や情報発信が必要である。また、ハイキングコースの擬木フェンスが壊れたままで危険な場所があるので、改修すべきだ。

就学援助制度の支給額は、学用品費、校外活動費が国基準の二分の一に、新入学学用品費は四分の一になり、不十分な援助制度になっている。支給額を国基準にして、全ての子供たちが安心して教育を受けられるよう求める。地域経済と市民生活は大変な状況が続いている。無駄をなくし、公正で民主的な市民本位の行財政運営で、市民生活と営業を守ることを求めて反対する。

賛成討論 みうら市政会 出口眞琴

二十九年度予算については、財源対策検討委員会の取り組みによる約一億八千三百万円の効果額を反映させるとともに、国の地方創生推進交付金と県の市町村自治基盤強化総合補助金などを活用して、予算編成に努めた。また、限られた財源の中、小児医療費無料化対象年齢の引き上げなど子育て施策の充実、また奨学金制度の拡充を図ったことは評価するところである。今後も、市の財政健全化に向けて引き続き行財政改革を行うとともに、市の重要課題である二町谷埋立地への企業誘致、旧三崎高校跡地活用方針など、二十九年度中の課題解消の取り組みに期待する。予算審査特別委員会における審査内容を十分に精査し、吉田市長を初め職員が一丸となって予算執行に邁進することを期待して賛成する。

賛成討論 公明党 藤田 昇

大変厳しい財政状況の中で、すべての事業について聖域なく見直し、その結果、人件費の削減、税外収入の増加、事業の縮減等の結果が出ていることは一定の評価ができる。新たな取り組みとして、市の公用車にラッピングバスを導入することは、動く広告媒体としてシティ・セールスに大きく活用できることが期待できる。

また、ふるさと納税活性化事業では、みうらっ子応援プロジェクトとして、子供の安全・安心の環境を整える施策にふると納税が活用される。二町谷埋立地への企業誘致、三崎漁港の高度衛生管理及び六次経済化の推進、三浦版C.R.C.構想の推進など課題が山積しているが、吉田市長と職員が一丸となり、市民の安全・安心と生活向上が図られる市政運営を期待して賛成する。

賛成討論 自由民主党 出口正雄

二十九年度予算は、本市の重要課題である人口減少と財政健全化に的確に対応するため、三浦みらい創成プランに掲げた重点施策と財源対策検討委員会による見直し結果に沿って編成された。歳出においては、国・県・関係団体との連携による三崎漁港の高度衛生管理化の推進、小児医療費助成の対象年齢引き上げや奨学金制度の拡充、幼稚園就園奨励費補助金事業などの子育て支援の充実化が盛り込まれている。また、未病を改善する事業や、新たに取り組む中学生ピロリ菌対策事業など、市民の健康力の増進支援に努めている。予算執行に際しては、市民の皆さんのよりよい生活、次世代を担う子供たちの夢や未来をサポートできるよう、行政は強い決意を持って一層努力されることを切に望み、賛成する。

# 議会を傍聴しませんか

平成29年第2回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
7 月 3 日	月	招集告示
5 日	水	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
10日	月	本会議（一般質問）
11日	火	本会議（一般質問）
12日	水	本会議（一般質問） 決算審査特別委員会
13日	木	総務経済常任委員会
14日	金	都市厚生常任委員会
19日	水	社会福祉事業等に関する特別委員会
21日	金	本会議（委員長報告・採決）

※請願・陳情の提出期限は7月4日（火）です。

◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。  
傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、住所、氏名、年齢を記入してください。

◆お問い合わせは議会事務局へ  
電話 046-882-1111 内線462・463

## 人事

市長から、農業委員会の委員の任命をするための議案及び人権擁護委員として法務大臣に推薦することにつき意見を求める諮問が提出され、原案のとおり同意または異議なき旨、答申しました。

### 農業委員会委員

高梨 利通氏  
出口 敏男氏  
吉田 良雄氏

井上 正義氏	吉田 一吉氏	草間 実氏	下里 孝行氏	古山 幸一氏	飯島 隆博氏	日守 英夫氏	青木 悦明氏	廣川 勝二氏	高梨 正春氏	山崎 信廣氏	相澤 康宏氏	鈴木 信介氏	石田 浩一氏	加藤 孝次氏
--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

人権擁護委員

白勢 順子氏	長嶋 正典氏	植坂 泰雄氏	吉水 教雄氏	菊池 惠氏	長谷川 正代氏
--------	--------	--------	--------	-------	---------

草間 道治氏	神田 眞弓氏	石橋 むつみ氏	石川 直樹氏
--------	--------	---------	--------



## 本会議での議案等の審議結果

### 〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】	【委員会提出議案】	【諮問】
第1号 三浦市上水道事業審議会条例	第19号 平成29年度三浦市病院事業会計予算	第1号 人権擁護委員の推薦について
第3号 三浦市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例	第20号 平成29年度三浦市水道事業会計予算	
第4号 三浦市地域福祉センター条例の一部を改正する条例	第21号 市道路線の認定、廃止及び変更について	
第5号 三浦市消防の広域化に伴う関係条例の整備に関する条例	第22号～第43号	
第7号 平成28年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
第8号 平成28年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		
第9号 平成28年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第3号）		
第10号 平成28年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		
第13号 平成29年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算		
第15号 平成29年度三浦市介護保険事業特別会計予算		
第16号 平成29年度三浦市市場事業特別会計予算		

### 〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番 号	件 名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 眞弓	出口 眞琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【議案】 第2号	三浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第6号	平成28年度三浦市一般会計補正予算（第5号）	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第11号	平成28年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第12号	平成29年度三浦市一般会計予算	原案可決	※	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○
第14号	平成29年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第17号	平成29年度三浦市公共下水道事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第18号	平成29年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※ 議長は表決に加わらない